



まつお 正秀のかわら版

自宅 能登町 12 - 58 - 108 能登レックスマンション Tel・Fax73 - 0775

携帯 090 - 6960 - 4570 議員団控え室 Tel35 - 3368 Fax22 - 7815

西宮議員団ホームページ (まつおの活動紹介あり) <http://nishinomiya.jcp-giin.net/>

ブログはアメーバブログ「まつお正秀の雑記帳」です

異例の二年連続修正予算可決

広報アドバイザー、西宮の休日事業は削除

昨年(2015)の3月議会では、突然の高齢者交通助成金削減と、難病患者見舞金廃止予算が提案されましたが全会一致で反対し、これまで通りの予算に修正させたのは御記憶に新しいところでしょう。

市長の政治姿勢不信心が二提案予算削除に

この3月議会では新予算に、広報を強化するとして二名の嘱託職員広報アドバイザーの雇用と、これまで行われてきた「まちたび博」を焼き直した「にしのみやの休日」事業を新たに盛り込んだ二つの提案が。

今村市長は昨年、気に入らない報道をしたマスコミに対して取材拒否とか、都合の悪いことに対して会見を行わずホーム

ページで対応との態度をとって来ました。その姿勢を変えないままの広報はさらに偏るのではないかとこの議会の疑念。また、今村市長が議員時代に、前市長の観光政策を痛烈に批判していましたが、その一環で行われていた「まちたび博」を名

前だけ変えて同じ中身で実施する「にしのみやの休日」についても、あたかも全く新しいものに見せかける欺瞞に満ちたもので、多くの議員が市長の政治姿勢に不信、市長出身会派も解散)を持った結果として、二つの予算削除の修正案が賛成多数で可決されました。党議員団は二つの修正案に賛成し、残る予算には市長の政治姿勢を大き

な理由に反対しました。西宮の良いところを知って広げる「まちたび博」は、市民の中に浸透していることや、これまでの協力者への影響も考え、党議員団としては今後継続実施を求めていきます。

まちたび博」継続は求めていきます

生ゴミダンボール堆肥化市のホームページで紹介

私が昨年12月議会の一般質問で求めた生ごみの段ボール堆肥化。取り組むとの答弁を得ていましたが、さっそく西宮市のホームページで紹介されています。

まず西宮市のホームページを開く。次いで、一番上の項目の暮らしの情報をクリック→ゴミ・美化→資源・リサイクルと入れれば見れます

広田町の道路改善要望が実現



整備前

整備後
排水口は数か所に

西宮中央運動公園のグラウンド東には東川（御手洗川）が。その東側には広田会館があります。その道路があります。昨年秋に市の方から、長年整備されておらずガタガタ道になっているとの相談を受け、さっそく市道路補修課に改善を依頼しました。工事には一定期間かかりましたが、今年に入り左記のように改善されました。

健康あれこれ 51回 シンバイオティクス

腸内を整える乳酸菌などの微生物を指すプロバイオティクスと、そうした微生物の働きを助けるプレバイオティクスと呼ばれるオリゴ糖や食物繊維を同時に摂取する手法を「シンバイオティクス」といいます。これがアトピー性皮膚炎の症状改善に有効とする研究結果を、台湾・陽明大学のチャン・ヤンセン医師らのグループが発表しました。研究では、シンバイオティクスを経口投与した0歳から14歳の小児1320人を解析した結果、摂取から8週目で重症度が改善したとの事。乳酸菌だけでなく、エサとなるオリゴ糖などを同時に摂るのがいいようですネ。

食べ物豆知識 114回 バナナ

スポーツ選手が、試合の合間にバナナを食べるシーンを見た方も多いのではないかと思います。果肉が柔らかく消化が早く、さらにアミラーゼという炭水化物を分解して消化吸収を促進する酵素を含んでいることがその理由みたいです。その消化の過程で、効率の良いエネルギーの供給源である、ブドウ糖や果糖、オリゴ糖などに分解されます。腸内善玉菌は食物繊維やオリゴ糖をエサにして増殖しますから、ヨーグルトと一緒にバナナを食べるのが理想的と言えます。

まつお正秀のTTPM

国会で交渉結果の是非を審議中のTPP。交渉に当たった甘利大臣のあっせん利得での辞任。当時農水大臣だった西川氏の出版本による交渉の情報漏らしと委員会の独断采配。8400ページの交渉記録の中から国会に提出された一部議事録も黒塗りだらけ。国が試算した国内農林水産業への影響額についても、意図的に過小評価されていたことも明らかに。これで承認してくれなどとも明らかな。3月西宮市議会である議員から、TPPによる市内での影響の質問があり、市側からは輸入品増で物価安になる一方、国内農産物消費には悪影響があると一長一短の答弁が。しかし、事は食の安全性や国内産業の存廃にも関わる問題です。EUではアメリカが日本などに輸入拡大を強く求める遺伝子組み換え食品（安全性に疑問）、牛肉、アメリカ牛はホルモン剤使用で、のどちらも輸入禁止。一長一短ではなく、将来の国民の為にどうかという視点と、多国籍企業の為という条約の本質も見抜いておく必要があるようです。